

きれいに仕上げるために

—ポイントアドバイス—
POINTADVICE

こまめにアイロンをかけましょう

ぬいしろを倒したり割ったり、こまめにアイロンをかけることがきれいに仕上げるコツです。「ぬいしろを割る」とは、生地を縫い合わせた後、ぬいしろを左右に倒すことです。



●アイロン定規●

折り目つけにはアイロン定規が便利です。(写真は三つ折りの仕方です。)



定規の目盛りを参考に3cm 折ってアイロンをかけます。



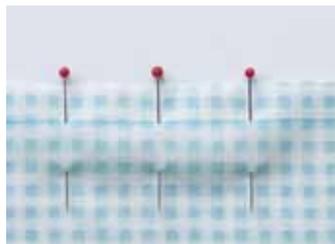
端を1cm 折り込んでアイロンをかけます。



折り目がつきました。

短い距離でも必ず待針でとめましょう

待針でとめないで、生地がずれてしまうことがあります。必ずとめましょう。



《待針のとめ方》
ぬい線に対して垂直に刺します。

●仮止めクリップ●

はさんととめるだけの安全・安心なクリップです。



目打とリッパーは強い味方です

普段あまり見慣れない道具ですが、ソーイングには重要な役割を果たします。

【目打】



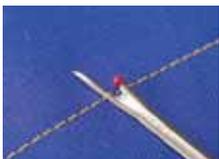
厚い部分の生地送りに



袋物の角出しに

【リッパー】

間違えて縫った時に生地を傷つけることなく、ほどくことができます。



上系または下系を2～3mm 間隔で切っていきます。



切った糸端を糸抜で引っ張ると、ほどけます。

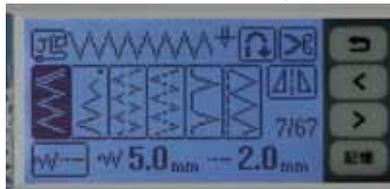


または、裏側の糸を引いてもほどけます。

生地の端はジグザグ縫い（ジグザグミシン）でほつれ止めをしましょう

生地端は切ったままだと作業中に織り糸が抜けてしまうため、1cm あったぬいしろが半分になった…ということにならないようにジグザグ縫いをしてほつれ止めをしましょう。

★ジグザグ縫いのマーク例 (ミシンによって異なります)



振り幅を大きく設定し、針先が右に振れた時に生地端にくるようにセットします。

ブラザーミシン
Family Maker
FM800



★ミシンに関するお問合せは…
ブラザー販売株式会社「お客様相談室」
☎0120-340-233
<http://www.brother.co.jp>